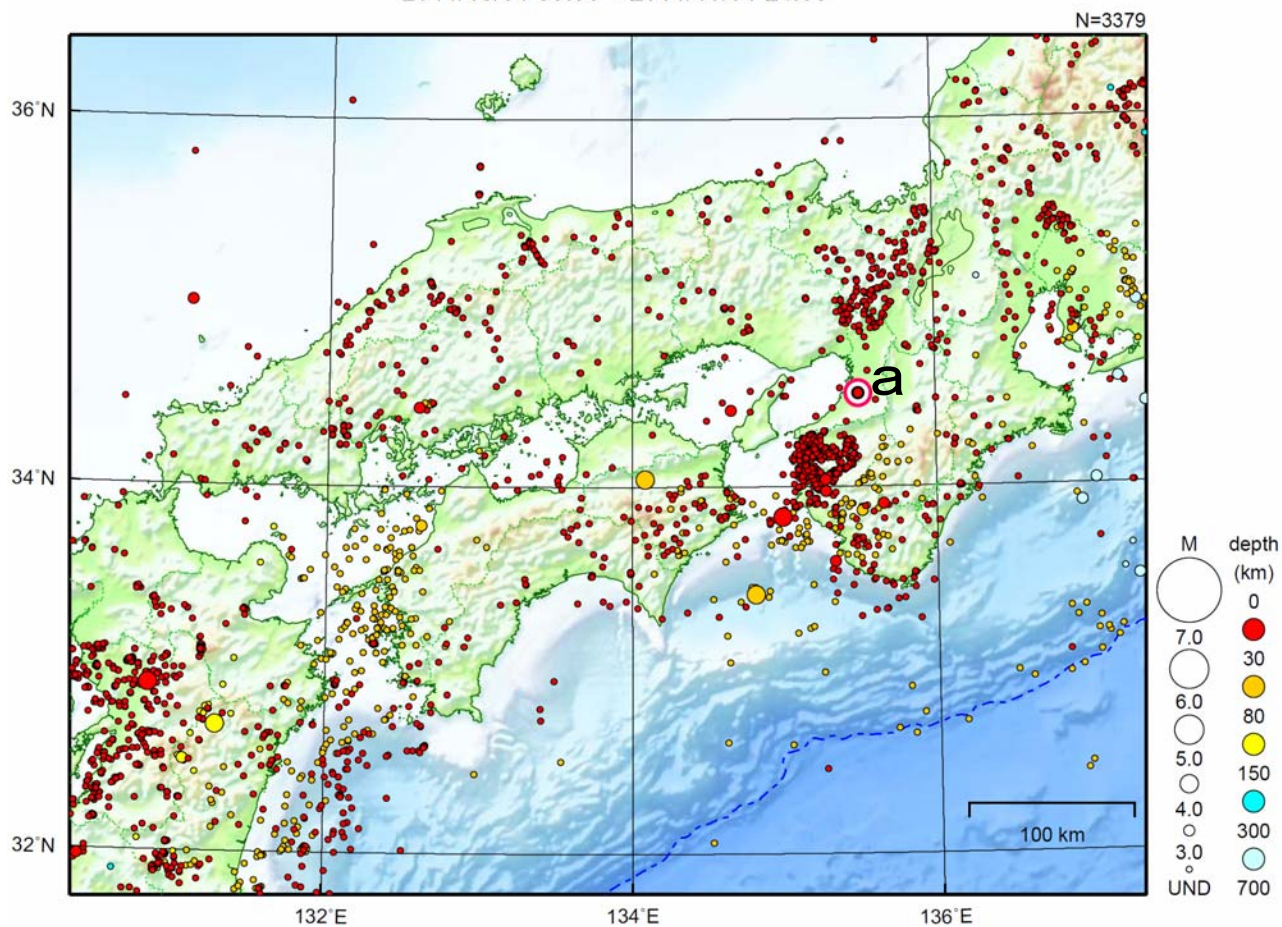


近畿・中国・四国地方

2011/10/01 00:00 ~ 2011/10/31 24:00



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

a) 10月9日に大阪府南部で M3.9 の地震（最大震度3）が発生した。

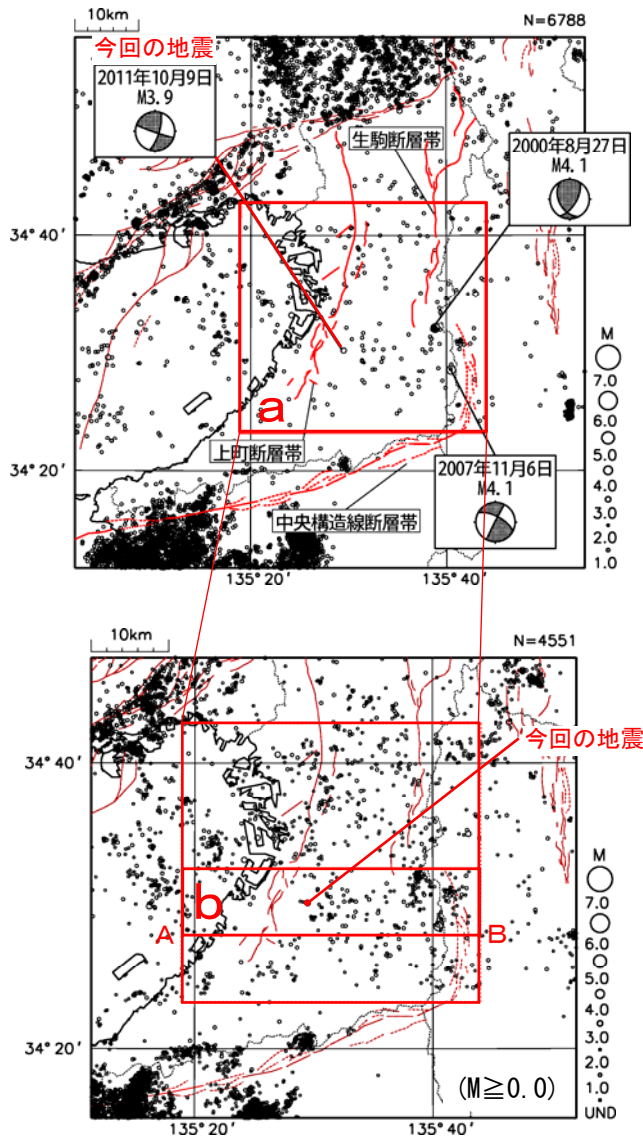
[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

気象庁・文部科学省

10月9日 大阪府南部の地震

震央分布図（1997年10月1日～2011年10月31日、深さ0～25km、 $M \geq 1.0$ ）

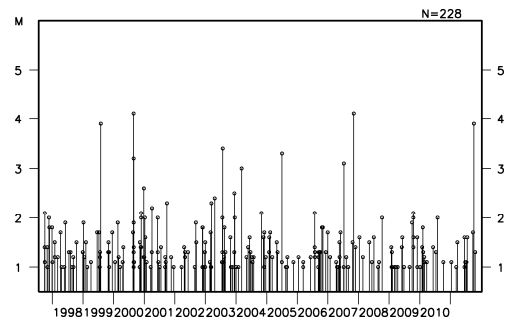
図中の細線は地震調査研究推進本部による主要活断層を表示



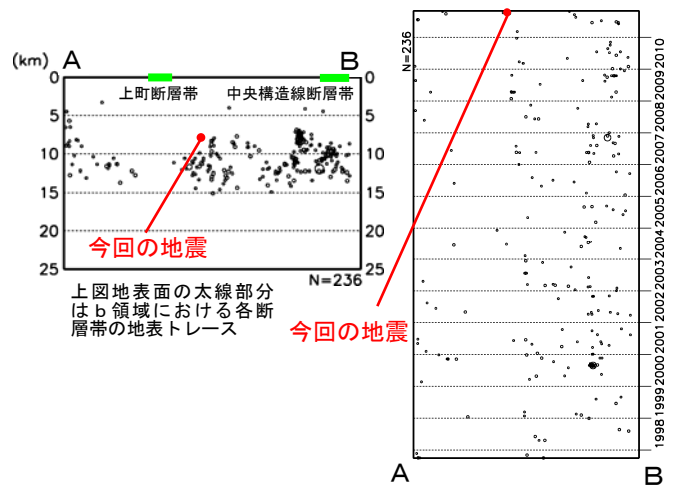
2011年10月9日16時18分に大阪府南部の深さ12kmでM3.9の地震（最大震度3）が発生した。この地震の発震機構は東北東－西南西方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型であった。この地震は地殻内で発生した。この地震の余震はほとんど発生していない。この地震は、領域bの中で上町断層帯と中央構造線断層帯の間に位置するクラスターで発生した。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近（領域a）では、M4.0程度の地震が時々発生している。

領域a内の地震活動経過図
（1997年10月1日～2011年10月31日）

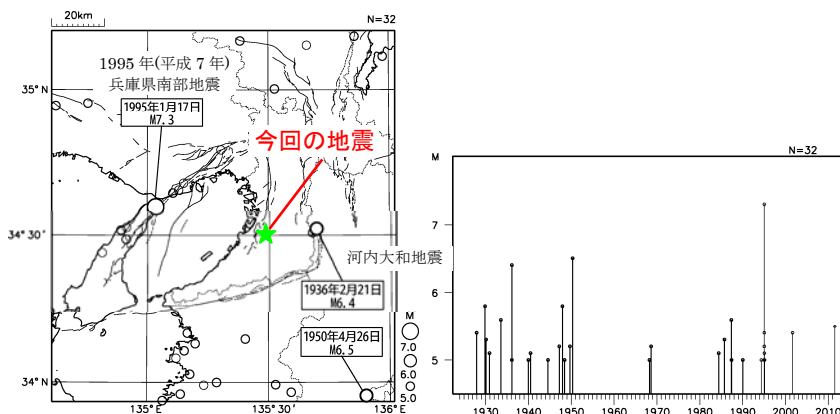


領域b内の断面図および時空間分布
（1997年10月1日～2011年10月31日、 $M \geq 0.0$ ）



震央分布図（1923年8月1日～2011年10月31日、深さ0～50km、 $M \geq 5.0$ ）および地震活動経過図

図中の細線は地震調査研究推進本部による主要活断層を表示



1923年8月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺では、M6.0を超えるような地震がときどき発生している。1936年に発生した河内大和地震では死者9人・負傷者59人等の被害を生じた（「最新版 日本被害地震総覧」による）。